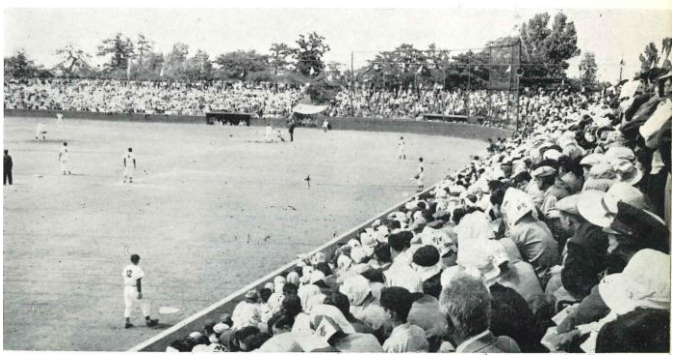
Ｎｏ．６５７【２０２５年６月２０日配信】

青森市小学校体育デー（担当：竹内理香）

こんにちは。歴史資料室の竹内です。今回は青森市内の小学生が参加するスポーツ大会「青森市小学校体育デー」をご紹介します。

この大会は市内各校の親善を旨として、児童のスポーツに対する理解と関心を深め、体力づくりを図ることを目的に開かれています。第１回大会は昭和 29 年（1954）９月 29 日に青森市営陸上競技場（現青森市スポーツ会館）を会場に小・中学生合同で開催されました。翌年からは小学生対象の大会となり、現在のような小学６年生（5 年生の参加もあり）が対象となったのは昭和 39 年第 11 回大会からです。

昭和 41 年に青森県総合運動公園陸上競技場が竣工するまでは、青森市営陸上競技場や青森市営野球場が会場に使用されていました。東京オリンピックイヤーに開催された昭和 39 年第 11 回大会は、青森市営野球場を会場に１周 300ｍのトラックを仮設し競技が行われました。競技のほか小学生 250 人による鼓笛隊や、女子によるオリンピック音頭が披露され、昭和 39 年８月 27 日付の『東奥日報』に「市内 42 校 4,700 人が参加、250 人が演奏するマーチで入場行進が行われ、見学の父兄達を喜ばせた。全員のラジオ体操はきれいにそろって小学生とは思えないほど。リレー競争は参加者全員が出場する大がかりな競技でグラウンドを沸かせた。」とあり、盛大に開催された様子が記されています。



青森市営野球場（昭和 33 年版『市勢要覧』）

また体育デーでは代表選手が出場するリレーや走り幅跳びなどの陸上競技のほか、全員が参加するダンス演技があります。平成 12 年（2000）第 47 回大会からは「ダンス NE・BU・TA」が踊られていますが、以前は大会歌「体育デーの歌」に合わせたダンスが踊られていました。

このダンスは 6 年生女子全員で踊る事のできるダンスを創作しようと先生方が児童が帰った後教室で振り付けを考えたそうです。試しに踊ってみては変更を繰り返し、試行錯誤しながらダンスを作り上げ、最後のポーズは八甲田をイメージするなど青森らしさを取り入れました。この「体育デーの歌」ダンスは昭和 45 年第 17 回大会で初披露されてから現在の「ダンス NE・BU・TA」に代わるまで、長い間体育デーの定番ダンスとして踊られてきました。

青森市の小学生が長年バトンをつないで開催されてきた体育デーは、令和 5 年（2023）第 70 回大会からは新青森県総合運動公園陸上競技場に会場を移し、今年第 72 回目を迎え 6 月 20 日に開催されます。参加される小学生のみなさんがんばってください！

※今回は『青森市小学校体育デー　50 年のあゆみ』（平成 15 年　青森市小学校校長会）を参考にさせていただきました。